

局長だより 10月

◇常任委員長だより 図書 啓展

●学力づくり・授業づくりの秋

運動会も終わり、学力づくり・

授業づくりの秋まっさかりですね。

「先生のための学校」の第十一期がスタートしました。十月十四日（土）は、公開講座になっています。久保校長が「こんぎつね」を素材にして話し合い活動と授業づくりを深めます。また深沢先生が朗読・群読指導を伝授してくださいませ。ぜひたいお得な講座、初めての方も、遠方の方もぜひ一度のぞいてください。お近くの先生は職場のお仲間とごいっしょに参加ください。お待ちしております。

十月八日（日）には菊池道場と学力研のコラボ講座、第三回「グラインドクロス」を名古屋で開催します。愛知の古橋先生がチーフとして企画してくださいませ。面白いですよ。お近くの先生方、ぜひ予約の上ご参加ください。

この秋、大いに学び、子どもの豊かな学びにつなげましょう。

◇組織局だより 岡本 美穂

●こんな時だからこそ

来てくださる方を幸せに

先日「先生のための学校」十一期が開講しました。たくさんの方々が参加して下さっていました。生方が参加して下さっていました。よく「休日にしんどい思いしてよく講座の運営などしますね。」と不思議そうに問われることがあります。私はいたってシンプルです。聞きたいと思うことに参加して自分のやりたいことをやっているだけなので負担だと感じることはありません。それよりもワクワクの方が勝ちます。それでも、運動会の練習などに追われるこの時期の講座は運営する側も正直大変です。だからこそ、こちらも本気になります。今年度の「先生のための学校」はパワーアップしています。毎回模造紙に久保先生のお話されたことをまとめていく予定です。またメーリングリストも作成し、悩んでいることも気軽に聞けたり情報交換も可能です。

きなりですが、私は五人の子どもの父親です。そのうちの一人が中学校の教員を目指しています。現在、大学一年生です。試しに、社会のサークル（歴教協）に誘ってみました。社会人ばかりの場に、しかも父親と一緒に嫌だろうと思っていたので（私だったら嫌です）、断るだろうと予想していました。それでも、声をかけてみるだけは、かけました。（家族に対してもこの精神は大切！）

◇千人プロジェクトだより 岡 篤

●サークルの意義

すると、意外とあっさり「いってみる」と返事が返ってきました。知り合いの方が京都でサークルをしているので、お願いして参加させていただきました。

ちょうど全国大会の前というところで、レポートの検討が次々に行われていました。帰りの電車で感想を聞いてみました。（続く）

話を留守電ランプがピコピコ点滅している日は、あわてて再生します。でも、たいいていの場合連絡するのが夜なので、学校等では難しい場合が多いです。留守電も、学校名等の連絡先や、電話番号をメッセージとして残していたいた場合は、何とか調べて連絡することができます。

◇学力研最新情報 岸本ひとみ

●連絡はFAXかメールで

家に帰ると、事務局電話の留守電ランプがピコピコ点滅している日は、あわてて再生します。でも、たいいていの場合連絡するのが夜なので、学校等では難しい場合が多いです。留守電も、学校名等の連絡先や、電話番号をメッセージとして残していたいた場合は、何とか調べて連絡することができます。

FAXで、用件と返信先を記入して連絡いただければ、こちらからも連絡することができるようになります。また、メールで連絡いただくと、これまた助かります。

学力研HPへのmailに返信するのも事務局長の仕事です。少々面倒ですが、faxかメールで連絡下さいますようお願いいたします。